

# III 警 防 編



## 1 消防力の現況（平成26年12月末日）

### （1）消防職員の現況

区 分	消 防 本 部	中 央 署	西 署	合 計
警 防 要 員		105	39	144
救 急 要 員		33	12	45
警 防 ・ 救 急 要 員			75	75
予 防 要 員	11	4	2	17
そ の 他 の 要 員	37	1	2	40
合 計	48	143	130	321

### （2）消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	449	5	454

### （3）消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設				計
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m <sup>3</sup> 級)	耐 震 性 貯 水 槽 (100m <sup>3</sup> 級)	指 定 水 利		
大 楽 毛	199	11			210	
鉄 西	254	34			288	
白 糠	126	43			169	
阿 寒	86	13			99	
阿 寒 湖 温 泉	25	8		1	34	
音 別	22	26			48	
愛 国	151	31			182	
鉄 北	227	35			262	
橋 北	119	47	1	1	168	
橋 南	315	87	1	3	406	
春 採	149	31			180	
白 樺	37	2			39	
合 計	1,710	368	2	5	2,085	

(4) 消防車両等の現況

種別	管理区分		消防本部	中央署		西署		白糠支署	消防団		合計
	普通 (予備)	水槽付 (予備)		1 (1)	7 (3)	8 (1)	8 (1)	白糠 2	19 2	21	36 (4)
消防ポンプ自動車				1 (1)	7 (3)	8 (1)	8 (1)	白糠 2	19 2	21	36 (4)
	直伸 (予備)	屈折 (予備)		1 2	3	1	1				4
特殊車	化学消防車			1	1	1	1				2
	大型高所放水車										
	泡原液搬送車					1	1				1
	小型梯子			1	1						1
	救助工作車			1	1						1
	災害支援車			1	1						1
	小型動力ポンプ付水槽車			1	1	4	4	白糠 1			5
	小型動力ポンプ積載車								8	8	8
救急車 (予備)				5 (2)	5 (2)	7 (2)	7 (2)	白糠 2 白糠 (1)			12 (4)
	緊急車	その他	6 4	6 4	7	7	9 2	9 2	白糠 3		22 6
合計 (予備車)			10	27 (5)		33 (3)	白糠 8 白糠 (1)		29	99 (8)	

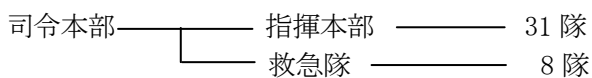
※ ( ) 内及び白糠支署は内数

## 2 警防体制

### (1) 警防体制

釧路市は地震多発地帯に位置し、かつ市街地は川によって3分割されていることから、消防体制としてこれらの地域が独立して警防活動ができるように消防部隊を編成している。

#### ア 消防本部部隊編成



#### イ 釧路市の消防団部隊編成

消防団司令本部 ———— 18ヶ分団消防隊

(2) 出動計画

ア 消防部隊出動計画

市街地における防火対象物の建ぺい率、構造率、年間平均風速、消防水利、消防車の走行速度等々、燃焼消火のエネルギー関係を科学的に分析し、次の基準で出動計画を決めている。

(ア) 火災出動計画

出動区分	出動台数	出動基準
第1出動	9台～10台	火災を覚知した時
第2出動	13台～14台	先着指揮官の要請又は異常気象時
第3出動	20台～22台	現場指揮官の要請
特命出動	必要台数	災害状況に応じて指揮官の要請

(イ) 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)

特命出動 必要数

(ウ) 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

イ 非常災害時出動計画

地震災害時、烈風時火災、豪雪時火災、水災等、それぞれの災害を分析し釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱を定め、消防部隊の強化を図っている。

ウ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の石油貯蔵基地は石油コンビナート等災害防止法に基づき西港区域が特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画にのっとり、化学車等を基本に特別防災区域出動計画を定めている。

(3) 災害活動に対する民間協力体制の確立

消防は隊員とこれが装備する資機材によって、各種災害に対応しなければならない。しかし、消防が有する装備と資機材のみによって対応しがたい場合があり、その対応策が強く望まれていた。

このような時に、市内の特殊資機材を有する民間企業が消防の行う活動に協力する目的をもって『釧路市救助協力会』が発足し、釧路市民を災害から守る防災対策が一層強化された。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 6部会 30事業所

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制の確立

釧路市愛国191の1に『釧路市空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 12,830㎡、40m<sup>3</sup>級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火剤散布装置4基)が昭和61年11月29日に完成をみた。この基地完成により、湿原、山林火災の消火及び災害時の救助救急等防災対策が一層強化された。

### 3 火災・警戒出動概要

平成26年中の出動状況は68件の火災が発生し、車両延べ423台、職団員延べ1,841名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

#### (1) 火災出動状況

区分 月	火災件数	出 動 台 数 ( 台 )			出 動 人 員 ( 名 )		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
1 月	3	11	2	13	33	12	45
2 月	7 (1)	35 (1)	8	43 (1)	134 (5)	82	216 (5)
3 月	7 (1)	40 (7)	6	46 (7)	163 (19)	43	206 (19)
4 月	4 (1)	22 (2)	5	27 (2)	74 (7)	37	111 (7)
5 月	8	27	5	32	104	33	137
6 月	6 (1)	35 (2)	8	43 (2)	123 (7)	54	177 (7)
7 月	6	33	8	41	110	59	169
8 月	4 (1)	21 (8)	6 (4)	27 (12)	68 (21)	38 (26)	106 (47)
9 月	3	7	0	7	24	0	24
10 月	6	39	10	49	130	98	228
11 月	7	32	8	40	102	63	165
12 月	7 (1)	43 (3)	12	55 (3)	150 (8)	107	257 (8)
合 計	68 (6)	345 (23)	78 (4)	423 (27)	1,215 (67)	626 (26)	1,841 (93)

※ ( ) は、白糠町の内数

#### (2) 過去5年間の火災出動状況の推移

区分 年	火災件数	出 動 台 数 ( 台 )			出 動 人 員 ( 名 )		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
平 成 22 年	84(11)	457	96	553	1,874	1,015	2,889
平 成 23 年	79(15)	445	101	546	1,896	1,013	2,909
平 成 24 年	63(5)	375	80	455	1,460	770	2,230
平 成 25 年	66(7)	406	91	497	1,608	813	2,421
平 成 26 年	68(6)	345	78	423	1,215	626	1,841

※ ( ) は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

分	年区	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
出 動 件 数		606 (74)	720 (85)	917 (102)	912 (104)	799 (93)
集合煙突		8 (1)	6 (1)	2	2	3
焚き火		8	4	7	6	1
電柱					2	3
異常燃焼		9	6	11 (1)	9	6
油関係		82 (1)	104 (2)	106 (9)	112 (8)	124 (7)
ガス関係		6	12	6	6	4
自火報		64 (3)	54 (2)	95	65 (2)	58 (1)
漏電警報器		1	1	3 (1)	2	1
非常警報		1	5	12	8	7
緊急ボタン		14 (1)	10	17 (2)	18 (3)	25 (4)
危険排除		64 (1)	54 (4)	174 (14)	255 (18)	137 (6)
その他		349 (67)	464 (76)	484 (75)	427 (73)	430 (75)
出 動 台 数		993 (105)	1,309 (165)	1,686 (204)	1,693 (203)	1,810 (203)
出 動 人 員		4,334 (459)	5,445 (629)	7,057 (797)	7,080 (757)	7,318 (728)

※ ( ) は、白糠町の内数

#### 4 救助出動概要

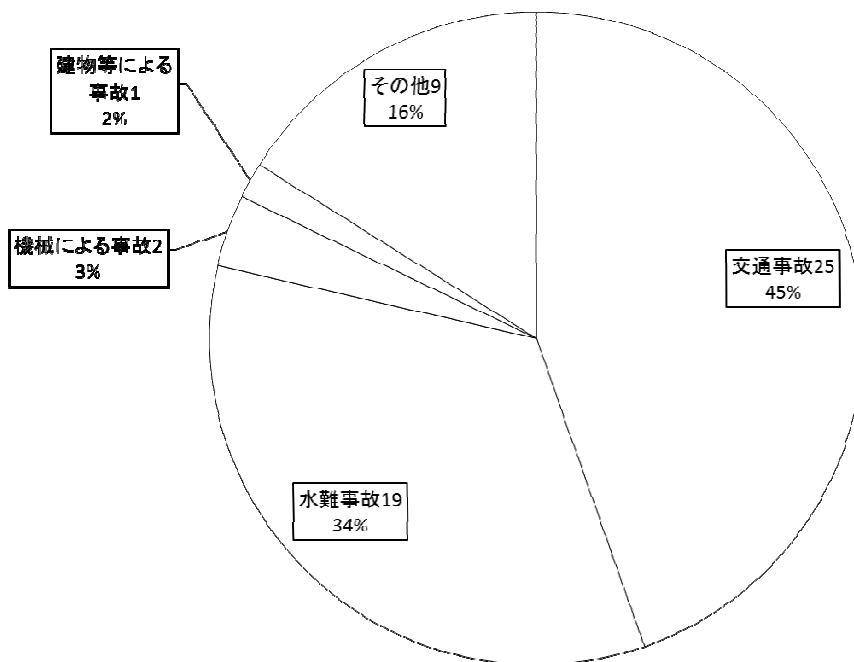
平成26年中の救助出動は56件発生し、車両延べ305台、人員延べ1,202名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

##### (1) 前年比救助出動状況

分	年区	平成25年		平成26年	
		出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
出 動 件 数		72 (5)	65 (3)	56 (4)	48 (7)
交 通 事 故		25 (4)	33 (3)	25 (3)	30 (6)
水 難 事 故		24 (1)	14	19	9
自 然 災 害					
機 械 に よ る 事 故		2	2	2 (1)	2 (1)
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故					
建 物 等 に よ る 事 故		3	3	1	1
爆 発 事 故					
そ の 他		18	13	9	6
出 動 台 数		403	(19)	305	(15)
出 動 人 員		1,642	(78)	1,202	(67)

※ ( ) は、白糠町の内数

##### (2) 事故種別救助出動状況





(3) 月別救助出動状況

区分	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	3	2	6	9	4	1	7	9	1	4	5	5	56
交 通 事 故	1		3	4	3		3	3	1	2	2	3	25
水 難 事 故	1	1	2	5			2	5		1	1	1	19
自 然 災 害													0
機 械 に よ る 事 故		1								1			2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故													0
建 物 等 に よ る 事 故	1												1
爆 発 事 故													0
そ の 他			1		1	1	2	1			2	1	9
出 動 台 数	13	8	33	45	16	12	43	51	7	21	30	26	305
出 動 人 員	55	50	133	166	58	57	183	174	24	83	127	92	1,202
救 出 人 員	3	1	3	9	6	0	7	5	2	4	5	3	48

(4) 署々別救助出動状況

区分	署		
	中 央 消 防 署	西 消 防 署	合 計
出 動 件 数	31	25 (4)	56 (4)
交 通 事 故	13	12 (3)	25 (3)
水 難 事 故	12	7	19
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故		2 (1)	2 (1)
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故			
建 物 等 に よ る 事 故	1		1
爆 発 事 故			
そ の 他	5	4	9
出 動 台 数	180	125 (15)	305 (15)
出 動 人 員	666	536 (67)	1,202 (67)
救 出 人 員	25	23 (7)	48 (7)

※ ( ) は、白糠町の内数

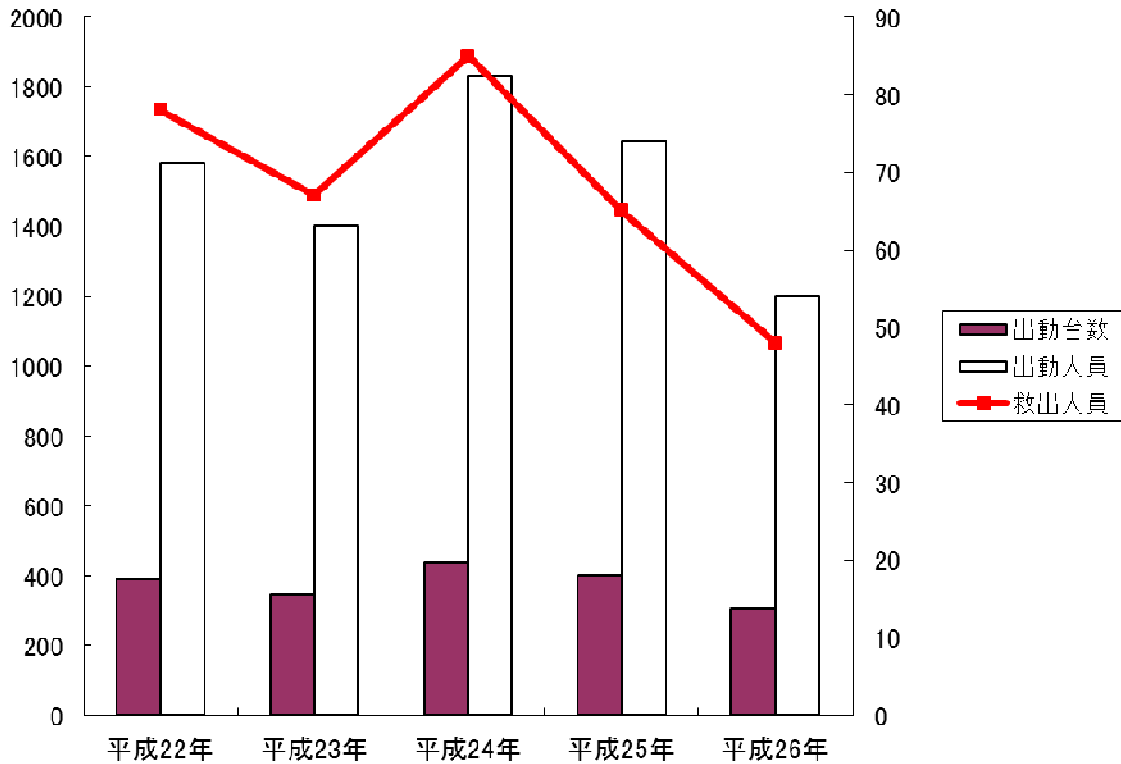
(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
出 動 件 数		79 (8)	73 (5)	87 (7)	72 (5)	56 (4)
交 通 事 故		43 (6)	37 (4)	45 (4)	25 (4)	25 (3)
水 難 事 故		20 (1)	19	26 (3)	24 (1)	19
自 然 災 害						
機 械 に よ る 事 故		1	1	2	2	2 (1)
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故		1				
建 物 等 に よ る 事 故			1		3	1
爆 発 事 故						
そ の 他		14 (1)	15 (1)	14	18	9
出 動 台 数		388 (32)	346 (22)	438 (33)	403 (19)	305 (15)
出 動 人 員		1,582 (122)	1,405 (85)	1,833 (137)	1,642 (78)	1,202 (67)
救 出 人 員		78 (4)	67 (4)	85 (13)	65 (3)	48 (7)

※ ( ) は、白糠町の内数

出動台数  
出動人員

救出人員



## 5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

### (1) 有線通信施設

区分	種別	施設数	適用	
有線電話	消防救急指令台	119回線	INS回線（一般・携帯・IP全て重畳） 同時8回線	
	一斉指令・署所端末回線	31回線	音声指令15回線 指令電送15+1（大規模）回線	
	指令台用局線	2回線	INS回線、同時4回線	
	順次指令用局線	2回線	INS回線、同時4回線	
	IT情報端末装置	1回線	FTTH	
	一般	加入電話	27(2)回線	本部・署・分署・支署 1～12分団（INS回線・電話・FAX）
		災害情報自動案内	1回線	災害等案内（NTT側設備で100回線）
		内線電話	259(12)回線	本部・署・分署・支署 1～12分団（NTT専用線）
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	2(1)回線	本部総務課・白糠支署

※ 市イントラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現（指令回線・指令電送・内線回線・OA回線等）

※ 白糠支署 DA128 回線で指令回線・指令電送・内線回線等に活用

※ ( ) 内は白糠支署内数

### (2) 無線通信施設

区分・種別		施設数	適用		
無線設備	基地局	デジタル	5(1)局	20W（中央消防署東分署・阿寒支署・阿寒湖温泉支署・音別支署・白糠町役場） →移動局、受令機の災害指令	
		アナログ	2局	緊急消防援助隊・航空機等用	
	簡易基地局	デジタル	1局	10W（仁々志別小学校）→陸上移動局の通信	
	固定局	デジタル	3局	東分署基地局用アプローチ回線	
		アナログ	1局	緊急消防援助隊・航空機等用	
	陸上移動局	卓上型	デジタル	21(2)局	5W→署・支署11局、分団10局
		可搬型	デジタル	2局	
		車載	デジタル	96(16)局	
		携帯	アナログ	9局	緊急消防援助隊・航空機等用
	受令機	デジタル	117(18)局		
アナログ		61(7)局	緊急消防援助隊・航空機等用		
その他	携帯電話	デジタル	14(1)台	本部・各署・各支署	
	衛星携帯電話		19(2)台	警防課2台、予防課1台、通信指令課1台、救急隊4台、阿寒支署1台、阿寒湖温泉支署2台、音別支署1台、白糠支署2台、市立病院1台、高速道路用4台	
			5(1)台	警防課1台、救急隊4台（阿寒・阿寒湖温泉・音別・白糠支署に各1台）	

※ ( ) 内の数字は白糠支署内数

(3) 無線チャンネル系統

		チャンネル						
緊急 通 信	一般	消防用	活動波 1	活動波 2				
		救急用	活動波 3	活動波 4				
	災害	情報用	活動波 5					
		指令用	活動波 6					
	大規模非常災害	消防用	活動波 1	活動波 2	活動波 3			
		救急用	活動波 6	活動波 4				
情報用		活動波 5						
共通波	主運用波 4 (北海道)	統制波 1 統制波 2 統制波 3	アナログ波	<table border="1"> <tr> <td>全国共通波 1</td> <td rowspan="3">平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。</td> </tr> <tr> <td>全国共通波 2</td> </tr> <tr> <td>全国共通波 3</td> </tr> </table>	全国共通波 1	平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。	全国共通波 2	全国共通波 3
全国共通波 1	平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。							
全国共通波 2								
全国共通波 3								

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	98 (11)	524 (80)	39 (6)	8,460 (429)	5,874 (208)	14,995 (734)
119FAX	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
加入電話受付	5 (0)	160 (11)	14 (1)	161 (9)	5 (0)	345 (21)
警察電話受付	6 (0)	23 (3)	8 (0)	36 (0)	1 (0)	74 (3)
無線受付	0 (0)	9 (0)	0 (0)	15 (1)	1 (0)	25 (1)
駆け付け通報	0 (0)	6 (0)	0 (0)	19 (7)	0 (0)	25 (7)
その他	6 (0)	29 (3)	1 (0)	56 (2)	346 (9)	438 (14)
合計	115 (11)	751 (97)	62 (7)	8,747 (448)	注 6,227 (217)	15,902 (780)

※ 各項目下段 ( ) 内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

注 合計欄その他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	662	1,403	1,457	725	139	37	1,804	6,227

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。(消防隊と救急隊が同時出動する火災、救助及び警戒出動は救急隊が出動していても救急受付件数には含まず、それぞれの災害項目に計上されます。)

## 6 研修及び訓練実施状況（平成26年実績）

### （1）研修

種別	項目		対象及び内容	期間・回数	人員・時間		
本 部 研 修	資格取得		大型自動車運転免許取得	8回	8人		
			無線従事者免許取得	1回	3人		
			潜水士資格取得	1回	2人		
	派遣	病院実習		救急救命士資格者	113回	47人	
		消防学校		初任教育前期	98日間	4人	
				初任教育後期	98日間	6人	
				専科教育救急科	34日間	5人	
				専科教育火災調査科	13日間	1人	
				特別教育はしご自動車運用課程	5日間	1人	
				特別教育気管挿管講習	9日間	1人	
				特別教育薬剤投与講習	29日間	7人	
				道MC関係教育気管挿管再認定講習	1日間	5人	
				消防大学校		専科教育救助科	34日間
	実務講習高度・特別高度救助コース					10日間	1人
	市職員研修		釧路市職員研修計画による	9回	95人		
	新規採用職員研修		平成26年度採用職員	15日間	8人		
	専科研修		上級救命講習	1回	6人		
			水難救助特別教育	1回	4人		
			予防課程	39回	212人		
	特別研修		消防職員意見発表会	1回	6件		
消防職団員研究発表会			1回	5件			
所 属 研 修	係 別	消防隊研修	中央消防署	227回	266時間		
			西消防署	460回	548時間		
	研修	救助隊研修	中央消防署	306回	511時間		
			西消防署	79回	127時間		
	研修	救急隊研修	救急資格者研修	584回	759時間		

## (2) 訓練

種 別	項 目	対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間		
本 部 訓 練	演 習	春 季 消 防 演 習	観閲	1回	26台510人	
		秋 季 消 防 演 習	慰霊祭・団競技大会	1回	23台470人	
		釧 路 市 防 災 総 合 訓 練	9月10日	1回	25人	
	各 種 訓 練	救 助 隊 員 養 成 訓 練	指定された隊員	28日間	43人	
		消 防 活 動 技 能 訓 練	指定された隊員	45日間	66人	
		救 助 技 術 訓 練 指 導 会 訓 練	指定された隊員	11月～8月	6人	
		警 防 技 術 訓 練	指定された隊員	17日間	67人	
		救 急 隊 員 訓 練	指定された隊員	13日間	32人	
	所 属 訓 練	係 別	消 防 隊 訓 練	中央消防署	1,654回	2,175時間
				西消防署	2,052回	2,456時間
専 科		救 助 隊 訓 練	中央消防署	1,433回	2,167時間	
			西消防署	461回	565時間	
		救 急 隊 訓 練	救急資格者研修	1,262回	1,457時間	

## (3) 消防団

種 別	項 目	対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間		
研 修 訓 練	研 修	資 格 取 得	自動車運転免許(大型・中型)取得	1回	4人	
		特 別 研 修	女性消防団員研修	1回	28人	
			機関教養	2回	20人	
			予防教養	36回	567人	
			幹部教養	1回	23人	
		視 察 研 修	消防団員技能競技大会視察	1回	18人	
		釧 路 市	消防団員基礎教育	1回	7人	
		北 海 道 消 防 学 校 入 校	消防団員基礎教育	1回	2人	
	競 技 大 会	釧 路 市 消 防 団 員	ポンプ自動車・小型ポンプ	9ヶ分団	41人	
		北 海 道 消 防 協 会 釧 路 地 方 支 部 消 防 団 員 技 能 競 技 大 会	釧路市(9月13日)	9ヶ分団	41人	
			ポンプ自動車・小型ポンプ			
		訓 練	規 律 訓 練	訓練礼式	52回	693人
				競技訓練	139回	988人
防 ぎ よ 訓 練	署・団合同訓練		19回	194人		